

岡山市農業協同組合が小玉スイカ「ピノ・ガール」生産者と 新規取組報告のため市長表敬を行います

備南千両ナスに次ぐ特産物として、令和5年産から栽培を開始した小玉スイカ「ピノ・ガール」について、令和6年産に作付面積を拡大し、本格的な収穫が始まるため、岡山市農業協同組合と生産者が市長表敬を行います。

1 日時

令和6年5月31日(金)11時40分～12時

2 場所

岡山市役所第三会議室(本庁舎3階)

3 内容

小玉スイカ「ピノ・ガール」生産者による取組報告及び試食

(訪問者)

岡山市農業協同組合 宮武 博 (みやたけ ひろし)経営管理委員会 会長

池内 伸治(いけうち しんじ)備南営農センター調査役

吉村 貴之(よしむら たかゆき)営農部副部長

生産者

久戸瀬 正志(くどせ まさし)

植月 喜人(うえつき よしと)

連仏 八郎(れんぶつ はちろう)

4 その他

・「ピノ・ガール」の特徴・・・重さ2～2.5kg、糖度13度以上、種が小さい、皮が薄い
食感が良い

・栽培エリア・・・岡山市南区灘崎、玉野市

・作付規模・・・令和5年産:30a、900本、6名で栽培

令和6年産:73a、2,320本、83名で栽培 (いずれも岡山市、玉野市合計)

【問い合わせ先】

岡山市 農林水産課 石村・岸本 直通086-803-1346 内線4541